



2月の定例会報告



梅の開花の便りが届く季節となりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
2月15日(土)に行われた定例会と新年会の報告をさせていただきます。

今回の定例会には5名の会員が参加されました。定例会では会に届いた研修のお知らせの確認や今年度の振り返りを行いました。

今年度は「就労支援」をテーマに障害福祉サービスの事業所見学やシンポジウムを行いました。会員の方からは「実際に見学することができて良かった。」「シンポジウムは色々な人が関わることを知れて安心できた。」という意見が挙がっていました。就労に向けてのさまざまな支援があることを知れた一方で「国の制度として、精神障がい者も雇用の義務が生まれたから働く人が増えているが、同僚の人など実際に働く人の理解は十分なのだろうか?」といった意見や「精神障がいは見た目では分からないから、まだまだ周りの人の目も気になるのではないかと思う。長く続かない人も多いという話もある。」「障がいがあることを開示すると職業の選択肢が狭くなるのではないか?本人が希望する仕事に就くことができるのか心配だ。」といった意見もありました。

会員の方の中には、自身が働いていた会社に障害者雇用として就職して来られた方がいたとのことで、「会社としての受け入れ体制は大切だと思う。ケガをせず、安全に働いてもらうために会社も工夫していた。会社の中の指導者の役割も重要だと感じる。」といった話もありました。

家族として、障がいがありながらもご本人が希望する仕事に就いて欲しいという思いや、周りの人に理解してもらえる職場で働いてほしいという思いを持たれている方が多いと感じました。シンポジウムに参加できなかった会員の方もテレビや新聞等の情報やシンポジウムの内容を聴き、自身の想いを話してくださり、とても活発な意見交換ができました。

定例会の後は「まる重」にて新年会を行いました。おいしい料理に皆さん満足されていました。会員の方からは、「定例会などに参加する会員の数も減ったね。今の会員の方にもっと参加してもらえる機会を作ったり、新しい会員を増やしたいな。家族として困っていたり、相談したいと思っている人はたくさんいるのではないかな。」という話がありました。他の会員の方からは「親であれば子供のためにいろいろやってあげたいと思うが、兄弟、姉妹になると少し気持ちも変化する人もいるかもしれない。家族関係も変化しているからね。でも悩んでいる人もたくさんいると思うので、家族会の存在を知ってもらうことで興味を持ってもらえるかもしれない。」「昔は家族会のピラを作って配ったりしたこともあった。これからどんなことができるか考えたいね。」といった意見が挙がっていました。

しらぎく会へのご意見、ご要望は…

〒922-0424 加賀市小菅波町121番地1

加賀こころの病院内 しらぎく会事務局